

# 四條畷市教育委員会ニュース

(学校教育課)

内容：

府立四條畷高校の生徒が  
くすのき小学校の児童に  
理科授業を指導

## 高校生が小学校で理科の先生

12月11日(金)、くすのき小学校5年2組の6時間目の授業はいつもと少し違っていました。先生は、大阪府立四條畷高等学校の生徒でした。現在、四條畷高校は国からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受け、「探究チャレンジⅡ」授業を行っています。この授業を受けている高校2年生の「出前授業」班は、11日と18日の二日間に渡り、5年1組、2組を訪れて授業を行いました。



この取組みは、四條畷高校、大阪府地球温暖化防止活動推進センター、四條畷市、四條畷市教育委員会の4者が連携した「大阪府地域低炭素化推進コンソーシアム省エネ・節電アクション事業」の一環として、地域貢献を掲げている四條畷高校と地域連携を推進する四條畷市教育委員会の取組みの一環で実現したものです。

授業は、「磁石の性質」「発電につながる電磁誘導」の内容で、身の周りの興味深い科学事象に注目し、そのおもしろさを小学生に伝える作業を通して高校生自らも自然の仕組みを理解することをねらいとしています。高校生は、この授業を行うにあたって、くすのき小学校から理科の教科書を借り、児童が楽しみ



ながら学習できるには、どの内容がいちばんいいだろうかとみんなで考え、指導案づくりに試行錯誤しながら魅力あるメニューを考えて当日を迎えました。1回目の授業後は、説明をよりわかりやすく改善し、2回目には更によい授業をめざしてがんばったそうです。「説明がわかった」とか、子どもの「楽しかった」の言葉が聞こえてうれしかったと、授業をやり終えて感想を話していました。

5年生の児童は、3学期に習う内容であったにも関わらず、高校生の先生の理科授業に、終始、真剣なまなざしで楽しく興味深く参加している様子でした。

今回の取組みをきっかけに、今後はくすのき小学校のみならず、市域の他の小中学校にも、さまざまな内容で小中高の連携が深められていくことを期待しています。

